

厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
児童福祉機関における思春期児童等に対する心理的アセスメントの導入に関する研究
（主任研究者 西澤哲）

分担研究報告書 6

分担研究者 福山清蔵（立教大学）
研究協力者 村田一昭（愛知県立大学）
加藤尚子（目白大学）
松橋秀之（横浜市北部児童相談所）

虐待傾向のある家族のアセスメントチェックリストの開発

福山清蔵 立教大学コミュニティ福祉学部

今年度は昨年に引き続き児童虐待の背景としての家族システムに関する調査を継続し、昨年度に作成した「家族アセスメントチェックリスト」の項目の精度を高めるための調査をおこなった。二人の担当者によるダブルチェック方式で、同一の家族についての評価がどの程度一致するかを検討(1) また、チェックリストの妥当性を確認するために(児童相談所、児童養護施設、公立小学校)の3群比較を実施した。(2)

また、北九州市児童相談所の展開してきたコミュニティサポートシステムについてヒアリングをおこなった。(3)

(1) チェックリストの項目の精査

研究全体の調査対象である関東圏の児童相談所6ヶ所、児童養護施設3ヶ所、埼玉県

南部にある公立小学校の3群の回答をもとに、項目の検討を以下のようにおこなった。

回答中「不明」と回答された割合が25%以上あった項目を削除対象とした。

各カテゴリーからはほぼ一項目ずつの削除対象項目が発見されたのでそれぞれ削除し7カテゴリー49項目から42項目に絞り込んだ。因子分析によりカテゴリーの再配置を試みた。

また、ダブルチェックを依頼した結果一致度は87%であったのでほぼ客観性は担保されたと想定できる。

(2) 3群間の比較検証

児童相談所、児童養護施設、小学校の合計得点を1元配置の分散分析した結果を以下に記す。

①記述統計

合計得点

	度数	平均値	標準偏差	標準誤差	平均値の 95% 信頼 区間		最小値	最大値
					下限	上限		
					児童相談所	70		
児童養護施設	48	50.38	30.967	4.470	41.38	59.37	0	118
小学校	47	16.30	19.695	2.873	10.52	22.08	0	68
合計	165	49.78	33.270	2.590	44.67	54.90	0	124

②等分散性の検定

合計得点

Levene 統計量	自由度1	自由度2	有意確率
6.646	2	162	.002

③分散分析

合計得点

	平方和	自由度	平均平方	F 値	有意確率
グループ間	86824.494	2	43412.247	74.261	.000
グループ内	94703.651	162	584.590		
合計	181528.145	164			

④多重比較

従属変数: 合計得点

Bonferroni

(I) 分類	(J) 分類	平均値の 差 (I-J)	標準誤差	有意確率	95% 信頼区間	
					下限	上限
児童相談所	児童養護施設	21.48(*)	4.531	.000	10.52	32.44
	小学校	55.56(*)	4.560	.000	44.53	66.59
児童養護施設	児童相談所	-21.48(*)	4.531	.000	-32.44	-10.52
	小学校	34.08(*)	4.962	.000	22.07	46.08
小学校	児童相談所	-55.56(*)	4.560	.000	-66.59	-44.53
	児童養護施設	-34.08(*)	4.962	.000	-46.08	-22.07

* 平均の差は .05 で有意

②と③の結果から児童相談所、児童養護施設、小学校の合計得点の平均値の差はあると言える。

続いて、Bonferroniの方法による多重比較の結果、児童相談所と児童養護施設、児童

相談所と小学校、児童養護施設と小学校の平均値に差があることが言える。

確認のため、クラスカル・ウォリスの検定も行う。

順位

	分類	N	平均ランク
合計得点	児童相談所	70	114.39
	児童養護施設	48	84.23
	小学校	47	35.00
	合計	165	

	合計得点
カイ2乗	77.825
自由度	2
漸近有意確率	.000

検定統計量(a,b)

a Kruskal Wallis 検定

b グループ化変数: 分類

(3)ヒアリング調査

北九州市児童相談所職員 2名へのインタビューにおいてはこれまでのコミュニティベースの児童虐待防止策について以下の事柄が聴取された。

- ① 市民との協働の必要性
- ② 子育て支援策のきめ細かな展開の必要性

今後は、今回作成したチェックリストによる臨床事例の検討、および標準化をおこなう必要がある。

家族支援のための家族関係アセスメント

I. 家族基盤・枠組みの成立

- 1 . 養育者に遊興・ギャンブル・飲酒・薬物の問題がある
- 2 . 経済観念(場当たりの消費、浪費)が無い, 経済的不安定
- 3 . 養育者はたいてい家にいない
- 4 . 住居が不安定である(頻繁な転居, 不定, 不衛生)
- 5 . 家族は無秩序・放任的である
- 6 . 家族の生活リズムが不安定である

II. 社会的連携

- 7 . 養育者の両親と疎遠・反目している
- 8 . 養育者の両親と地理的・心理的に離れている
- 9 . 養育者は安定した交友関係がない
- 10 . 養育者は近隣や社会とあまりかかわりを持たない
- 11 . 養育者は保育士, 教師, 児童福祉士などとの関係が悪い
- 12 . 養育者は関係機関や周囲の人に相談したり, 助けを求めたりしない

III. 家族の受容的風土

- 13 . 家族成員の中に支配的・干渉的な関係がある
- 14 . 家族成員の中に不満, 敵意, 不信の関係がある
- 15 . 家族には孤立した人がいる
- 16 . 家族は互いに協力しようとしていない
- 17 . 家族は互いの行動に関心をもっていない
- 18 . 家族には互いに甘えたり, 頼ったりすることがない

IV. 養育関係の規範・統制

- 19 . 養育者の決定は絶対である
- 20 . 養育者に日常的に暴力的・威圧的統制がある

- 21 . 子どもに対して過干渉, 支配的である
- 22 . 子どもにのみ適用するような決まりが多い
- 23 . 子どもは養育者に対するすくみ反応・無反応がある
- 24 . 子どもの欠点や失敗などを批判する

V. 養育者との愛着・親密性

- 25 . 子どもに対して無関心である
- 26 . 子どもに触れたり世話することをいやがる
- 27 . 子どもを置き去りにしたり遊びにいたりして一緒に居たがらない
- 28 . 子どもと遊ぶことを嫌がる
- 29 . 子どもと一緒にいとイライラする
- 30 . 養育者と子どもは目を合わせたり微笑んだりすることがない

VI. 養育者自身の病理・性格

- 31 . 養育者はふさぎこんで何もしないことがある
- 32 . 養育者は自分や自分の状況を卑下している
- 33 . 養育者は物事に対して悲観的・被害的である
- 34 . 養育者はちょっとしたことで大騒ぎをしたり, 攻撃的になる
- 35 . 養育者は自己破壊的, 自暴自棄的行動がある
- 36 . 養育者は欲望や誘惑への抑制がきかない

VII. 家族関係と養育関係の安定

- 37 . 家族は時々の葛藤をもちながらも配慮を保っている
- 38 . 家族といると気に安心と安らぎがある
- 39 . 不十分ながらも子どもの世話をしようとする
- 40 . 子どもに怒ったり謝ったりを繰り返しつつも自分を抑制しようとしている
- 41 . 子どもの状態を理解し世話しようとしている
- 42 . 子どものことを好きだという感情が見られる

2005年度 児童相談所で一時保護した子どもに関する調査

本調査にご協力いただき、ありがとうございます。

調査は以下の構成になっています。記入要領にしたがってお答え下さい。

<構成>

- I. フェースシート
- II. 虐待体験評価尺度 AEI-R (Abuse Experience Inventory)
- III. 乳幼児版子どもの行動チェックリスト
- IV. 子どものトラウマ行動チェックリスト (ACBL-R)
- V. 家族支援のための家族アセスメント
- VI. 親の行動に関する調査
- VII. 保護者の子どもに対する心理傾向尺度 (PAAI)
- VIII. 保護者の虐待心性に関するチェックリスト (PAAC)

<記入要領>

1. 選択肢がある項目は、あてはまる選択肢の番号に○をつけて下さい。
2. () や枠のある質問には、数字や言葉を記入して下さい。
3. 質問が多岐にわたっておりますが、わかる範囲の情報をできるだけお答え下さい。

記入者職() 氏名(
整理番号() 児童相談所 No. ()

1. 子どもに関する基礎情報

- (1) 性別 男・女
- (2) 年齢 歳 ヶ月
- (3) 身長 現在 cm
- (4) 体重 現在 Kg

2. 通報(相談)及び一時保護について

- (1) 今回の保護につながる通報(相談)の経路を記入してください。

()からの通報(相談)

- (2) 以前に通報(相談)や援助の経過がありましたか？

1 ある 2 ない 3 不明

ある場合… その内容は何ですか？

1 相談で終結 2 経過観察中 3 児童福祉司指導 4 一時保護後帰宅
5 施設入所後帰宅 6 その他(具体的に:)

- (3) 今回の一時保護は保護者の同意の上でおこなわれましたか？

1 同意している 2 拒否している 3 どちらともいえない

- (4) 今回の一時保護に子ども本人は同意していますか？

1 同意している 2 拒否している 3 どちらともいえない 4 不明

3. 子どもについて

- (1) 出生体重や在胎日数を知っていたら記入してください。

出生体重 (Kg) 在胎週数 (週)

- (2) 妊娠や分娩に何らかの問題があったと聞いていますか？

1 ある 2 ない 3 不明

ある場合… その内容は何ですか？()

- (3) 現在、子どもが抱えている病気, 障害, 問題行動はありますか？(いくつか書いてください)

()

- (4) 子どもは虐待されていたことがあると考えられますか？(どちらかに○をつけて下さい)

1 ある 2 あると推定される 3 ない 4 不明

ある場合… a)その内容は何ですか？(複数回答可)

1 身体的虐待《 》 2 性的虐待《 》 3 心理的虐待《 》
4 ネグレクト《 》 5 DV目撃《 》 6 不明

b)虐待していた人は誰ですか？(上の項目の《》内に番号を記入してください。複数回答可)

1 実父 2 実母 3 養(継)父(含内縁関係)
4 養(継)母(含内縁関係) 5 その他()

(3) 実母について

①実母が子どもを生んだのはいつですか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|-------|-------|
| 1 14歳以下 | 2 15～17歳 | 3 18～19歳 | 4 20代 | 5 30代 |
| 6 40代以上 | 7 不明 | | | |

②実母と子どもの同・別居の状況は？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 本児と別居 | 2 本児と同居 | 3 死亡 |
|---------|---------|------|

↳ 別居の場合、その理由は何ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | | |
|-----------|-------|--------|-------|
| 1 離婚による別居 | 2 入院中 | 3 行方不明 | 4 受刑中 |
| 5 その他() | 6 不明 | | |

③実母の学歴は？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|---------|----------|------|
| 1 中学卒 | 2 高校卒 | 3 大学卒 | 4 専門学校卒 | 5 その他() | 6 不明 |
|-------|-------|-------|---------|----------|------|

④実母が子どものころ虐待されていたことがあると聞いていますか？(どちらかに○をつけて下さい)

- | | | |
|------|------|------|
| 1 ある | 2 ない | 3 不明 |
|------|------|------|

↳ ある場合… a)その内容は何ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|---------|---------|---------|
| 1 身体的虐待 | 2 性的虐待 | 3 心理的虐待 |
| 4 ネグレクト | 5 DVの目撃 | 6 不明 |

⑤実母は虐待以外でトラウマとなるような怖い経験、悲しい経験をしたことがあると聞いていますか？(どちらかに○をつけて下さい)

- | | | |
|------|------|------|
| 1 ある | 2 ない | 3 不明 |
|------|------|------|

↳ ある場合… a)どのようなトラウマ体験ですか？

()

⑥実母に何らかの疾患はありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|------|------|------|
| 1 あり | 2 なし | 3 不明 |
|------|------|------|

↳ ある場合、どのような疾患ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|-----------------------------|--------|-----------|
| 1 身体疾患 | 2 薬物依存 | 3 アルコール依存 |
| 4 精神障害(病名が分かれば具体的に記入してください) | 5 不明 | |
| () | | |

⑦実母に受刑歴はありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|------|------|------|
| 1 あり | 2 なし | 3 不明 |
|------|------|------|

(4) 実父について

①子どもが生まれたときの実父の年代は？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | | | |
|---------|----------|----------|-------|-------|
| 1 14歳以下 | 2 15～17歳 | 3 18～19歳 | 4 20代 | 5 30代 |
| 6 40代以上 | 7 不明 | | | |

②実父と子どもの同・別居の状況は？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | |
|---------|---------|------|
| 1 本児と別居 | 2 本児と同居 | 3 死亡 |
|---------|---------|------|

↳ 別居の場合、その理由は何ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

- | | | | |
|-----------|-------|--------|-------|
| 1 離婚による別居 | 2 入院中 | 3 行方不明 | 4 受刑中 |
| 5 その他() | 6 不明 | | |

③実父の学歴は？(いずれかに○をつけて下さい)

1. 中学卒 2. 高校卒 3. 大学卒 4. 専門学校卒 5. その他() 6. 不明

④実父が子どものころ虐待されていたことがあると聞いていますか？(どちらかに○をつけて下さい)

1 ある 2 ない 3 不明

ある場合… a) その内容は何ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 身体的虐待 2 性的虐待 3 心理的虐待
4 ネグレクト 5 DVの目撃 6 不明

⑤実父は虐待以外でトラウマとなるような怖い経験、悲しい経験をしたことがあると聞いていますか？(どちらかに○をつけて下さい)

1 ある 2 ない 3 不明

ある場合… a) どのようなトラウマ体験ですか？

()

⑥実父に何らかの疾患はありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 あり 2 なし 3 不明

ある場合、どのような疾患ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 身体疾患 2 薬物依存 3 アルコール依存
4 精神障害(病名が分かれば具体的に記入してください) 5 不明
()

⑦実父に受刑歴はありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 あり 2 なし 3 不明

(5) きょうだいについて

①きょうだい虐待されていたことがあると聞いていますか？(どちらかに○をつけて下さい)

1 あり 2 なし 3 不明 4 きょうだいはいない

ある場合… a) その内容は何ですか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 身体的虐待 2 性的虐待 3 心理的虐待
4 ネグレクト 5 DVの目撃 6 不明

3. 親以外の重要な保護者(祖父母・叔父伯母など)について

(1) そうした保護者の存在はありますか？(どちらかに○をつけて下さい)

1 あり 2 なし 3 不明

ある場合… a) 子どもとの接触はありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 ある 2 ない

ある場合、その頻度はどのぐらいですか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 週に1回程度 2 月に2回程度 3 月に1回程度 4 長期休暇中のみ

b) 子どもがそうした保護者宅に外泊することはありますか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 あり 2 ない

ある場合、その頻度はどのぐらいですか？(いずれかに○をつけて下さい)

1 週に1回程度 2 月に2回程度 3 月に1回程度 4 長期休暇中のみ

4. 今後の援助方針をご記入ください。

5. 本事例について何か特徴的なことがあればご記入ください。

Ⅱ. 虐待体験評価尺度 AEI-R (Abuse Experience Inventory)

これまでに子どもや親から得られた情報や様子に基づいて、子どもの一時保護所や施設への入所の時点での状況や家庭での経験等に関する以下の各項目について、最も当てはまる数字に○印をつけてください。

	な か っ た	た ま に （ 少 し ） あ っ た	と き ど き （ い く ら か ） あ っ た	よ く あ っ た
0:なかった				
1:たまに(少し)あった				
2:ときどき(いくらか)あった				
3:よくあった				

	0	1	2	3
(1) 子どもの体に痣があった	0	1	2	3
(2) 子どもの体に火傷の跡があった	0	1	2	3
(3) 「しつけ」のために、親が子どもに、殴る、蹴るなど、用具を使わない身体的暴力をふるっていた	0	1	2	3
(4) 「しつけ」のために、親が子どもに、殴る、蹴るなど、用具を使った身体的暴力をふるっていた	0	1	2	3
(5) 親がアルコールや薬物を摂取した際に、子どもに身体的暴力をふるっていた	0	1	2	3
(6) しつけのために夜間戸外に締め出されていた	0	1	2	3
(7) 食事が規則正しく提供されていなかった	0	1	2	3
(8) 入浴・着替えなどの衛生管理がなされていなかった	0	1	2	3
(9) 親の就労や夜遊びなどのため夜間子どもだけで過ごすことがあった	0	1	2	3
(10) 子どもが学校に行かなくても、親は無関心であった	0	1	2	3
(11) 学校の教材などが適切に整えられていなかった	0	1	2	3
(12) 季節にふさわしい衣類が用意されていなかった	0	1	2	3
(13) 予防接種を受けていなかった	0	1	2	3
(14) 子どもが病気であっても親は無理やり登校させていた	0	1	2	3
(15) 病気や障害に対する適切な治療や援助を受けていなかった	0	1	2	3
(16) 子どもに未治療の虫歯があった	0	1	2	3
(17) 親に気持ちを受け止めてもらっていなかった	0	1	2	3
(18) 年齢に応じた遊びや話し相手を親にしてもらっていなかった	0	1	2	3
(19) 悲しい時に親に慰めてもらっていなかった	0	1	2	3
(20) 親が子どもに対して拒否的なことばや態度を示していなかった	0	1	2	3
(21) 子どもに対する親の態度や指示に一貫性がなく、子どもが混乱していた	0	1	2	3
(22) 親との性交があった	0	1	2	3
(23) 親との性交以外の性的接触があった	0	1	2	3
(24) きょうだいとの性交があった	0	1	2	3
(25) きょうだいとの性交以外の性的接触があった	0	1	2	3
(26) 親やきょうだい以外との性交があった	0	1	2	3
(27) 親やきょうだい以外との性交以外の性的接触があった	0	1	2	3
(28) ビデオや雑誌など、年齢不相応の性的刺激を受けていた	0	1	2	3
(29) 親などの性的行為を目撃していた	0	1	2	3
(30) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩を目撃していた	0	1	2	3
(31) 夫婦間の身体的暴力を伴わない喧嘩を目撃していた	0	1	2	3
(32) 夫婦間の喧嘩の結果、一方の親が子どもをおいて家出をしたことがあった	0	1	2	3
(33) 夫婦間の喧嘩の結果、一方の親が子どもを連れて家出をしたことがあった	0	1	2	3
(34) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩の結果、救急車や警察官などが家にやってきたことがあった	0	1	2	3
(35) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩の結果、親が入院したことがあった	0	1	2	3

AEI-R 採点シート

①AEI-Rの各質問項目の得点を、それぞれ以下の白のマスに記入して下さい。

②白いマスの縦列の合計点(下位尺度ごとの合計点)を、下の合計得点の欄に記入して下さい。

	得点	身体的虐待	ネグレクト	心理的虐待	性的虐待	DVの目撃
身体的虐待	(1) 子どもの体に痣があった					
	(2) 子どもの体に火傷の跡があった					
	(3) 「しつけ」のために、親が子どもに、殴る、蹴るなど、用具を使わない身体的暴力をふるっていた					
	(4) 「しつけ」のために、親が子どもに、殴る、蹴るなど、用具を使った身体的暴力をふるっていた					
	(5) 親がアルコールや薬物を摂取した際に、子どもに身体的暴力をふるっていた					
	(6) しつけのために夜間戸外に締め出されていた					
ネグレクト	(7) 食事が規則正しく提供されていなかった					
	(8) 入浴・着替えなどの衛生管理がなされていなかった					
	(9) 親の就労や夜遊びなどのため夜間子どもだけで過ごすことがあった					
	(10) 子どもが学校に行かなくても、親は無関心であった					
	(11) 学校の教材などが適切に整えられていなかった					
	(12) 季節にふさわしい衣類が用意されていなかった					
	(13) 予防接種を受けていなかった					
	(14) 子どもが病気であっても親は無理やり登校させていた					
心理的虐待	(15) 病気や障害に対する適切な治療や援助を受けていなかった					
	(16) 子どもに未治療の虫歯があった					
	(17) 親に気持ちを受け止めてもらっていなかった					
性的虐待	(18) 年齢に応じた遊びや話し相手を親にしてもらっていなかった					
	(19) 悲しい時に親に慰めてもらっていなかった					
	(20) 親が子どもに対して拒否的なことばや態度を示していた					
	(21) 子どもに対する親の態度や指示に一貫性がなく、子どもが混乱していた					
D V の 目 撃	(22) 親との性交があった					
	(23) 親との性交以外の性的接触があった					
	(24) きょうだいとの性交があった					
	(25) きょうだいとの性交以外の性的接触があった					
	(26) 親やきょうだい以外との性交があった					
	(27) 親やきょうだい以外との性交以外の性的接触があった					
	(28) ビデオや雑誌など、年齢不相応の性的刺激を受けていた					
	(29) 親などの性的行為を目撃していた					
合計得点	(30) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩を目撃していた					
	(31) 夫婦間の身体的暴力を伴わない喧嘩を目撃していた					
	(32) 夫婦間の喧嘩の結果、一方の親が子どもをおいて家出をしたことがあった					
	(33) 夫婦間の喧嘩の結果、一方の親が子どもを連れて家出をしたことがあった					
	(34) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩の結果、救急車や警察官などが家にやってきたことがあった					
	(35) 夫婦間の身体的暴力を伴う喧嘩の結果、親が入院したことがあった					
合計得点						

Ⅲ. 乳幼児版 子どもの行動チェックリスト

このチェックリストは、生後6ヶ月から小学校就学前の子どもを対象としたものです。

以下の要領にしたがって質問紙に記入して下さい。

1. 各項目には選択肢が用意されています。あてはまる選択肢の番号に○をつけて下さい
2. あまり深く考えず、普段の印象をお答え下さい
3. 質問項目には全てお答えください
4. 採点は、採点解説シートに従って行って下さい

乳幼児版 子どもの行動チェックリスト

このチェックリストは、生後6ヶ月から就学前の子どもの対象としたものです。
あまり深く考えず、ふだんの印象をお答え下さい。採点は、解説シートにしたがって行ってください。

乳幼児版子どもの行動チェックリスト 2歳未満用		《名前			年齢
1. お子さんに以下のことがあったことを聞いていますか？	ない	あったと推定される	明らかにあった	不明	
1 殴られる	1	2	3	4	
2 蹴られる	1	2	3	4	
3 物を投げつけられる	1	2	3	4	
4 物で叩かれる	1	2	3	4	
5 タバコの火を押し付けられる	1	2	3	4	
6 その他の熱傷を負わせられる	1	2	3	4	
7 湯船に沈められる	1	2	3	4	
8 その他の暴力行為を受けた	1	2	3	4	
9 突然大声で怒鳴られるなど、感覚を通じての恐怖の体験があった	1	2	3	4	
10 こどもが事故で病院にかかった	1	2	3	4	
「3」、「4」の場合:こどもが事故で病院にかかった回数 →(1. 1回 2. 2~3回 3. 4回以上 4. 不明)					
11 こどもにとって必要な日常的なケアを与えられなかった (例:オムツをはずさない、ミルクを与えない、衣服を替えない、身体を清潔にしない等)	1	2	3	4	
12 必要なのに病院に連れて行かない、あるいは健診につれて行かないということがあった	1	2	3	4	
13 こどもにとって必要な愛情を与えられなかった(例:話かけない、笑いかけない、抱かない、泣いても無視する等)	1	2	3	4	
14 養育者の不安定さなどで、ケアが一定しなかった (可愛がるときもあれば全く可愛がらないときもあるなど、子どもに対する態度が一定しない様子)	1	2	3	4	
15 年齢不相当な性的刺激が加えられた (例:大人の性器をさわらせる等)	1	2	3	4	

2. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「ない」とお答えください。

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
16 ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	5
17 些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	5
18 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	5
19 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	5
20 夜泣きが激しい	1	2	3	4	5
21 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	5
22 ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	5

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他の職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
23 表情が乏しい	1	2	3	4	5
24 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	5
25 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	5
26 人のものをとったりする	1	2	3	4	5
27 生き生きとしている	1	2	3	4	5
28 友達と仲良く遊ぶ	1	2	3	4	5
29 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	5
30 ちょっとしたことでも怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	5
31 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをボーっと見ている	1	2	3	4	5
32 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	5
33 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	5
34 いつもいらいらしている	1	2	3	4	5
35 遊びに集中できない	1	2	3	4	5
36 悲しそうにしている	1	2	3	4	5
37 笑顔が少ない	1	2	3	4	5
38 凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	5
39 大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	5

1. お子さんには次のようなことがありますか？	ない	たまにある	ある	よくある
40 ぐずることが多い	1	2	3	4
41 床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4
42 すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4

乳幼児版子どもの行動チェックリスト 2歳未満用 採点解説シート

以下の解説にしたがって得点を算出してください。

- ①縦列の合計得点を算出し、「各下位尺度ごとの得点X」を算出してください。その際反転項目(問27、28)の得点配分に注意して下さい
 ②下位尺度得点「トラウマX」と「愛着X」と「感覚・行動・調節X」を合計し「総合得点X」を算出してください(注:「体験」はプロフィールには含まれません)
 ③「各下位尺度得点X」および「総合得点X」から、別紙のプロフィールシートを用いてそれぞれの「T得点」を求めて下さい

1. お子さんに以下のことがあったことを聞いていますか？

	ない	あつたと 推定される	明らかに あつた	不明	
1 眠られる	1	2	3	4	
2 寝られる	1	2	3	4	
3 物を投げつけられる	1	2	3	4	
4 物で叩かれる	1	2	3	4	
5 タバコの火を押し付けられる	1	2	3	4	
6 その他の熱傷を負わされる	1	2	3	4	
7 湯船に沈められる	1	2	3	4	
8 その他の暴力行為を受けた	1	2	3	4	
9 突然大声で怒鳴られるなど、感覚を通じての恐怖の体験があつた	1	2	3	4	
10 子どもが事故で病院にかかった 「3」、「4」の場合:子どもが事故で病院にかかった回数 →(1. 1回 2. 2~3回 3. 4回以上 4. 不明)	1	2	3	4	
11 子どもにとって必要な日常的なケアを与えられなかった (例:オムツをはずさない、ミルクを与えない、衣服を替えない、身体を清潔にしない等)	1	2	3	4	
12 必要なのに病院に連れて行かない、あるいは健診につれて行かない ということがあつた	1	2	3	4	
13 子どもにとって必要な愛情を与えられなかった(例:話かけない、笑いかけない、抱かない、泣いても無視する等)	1	2	3	4	
14 養育者の不安定さなどで、ケアが一定しなかった (可愛がる時もあれば全く可愛がらないときもあるなど、子どもに対する態度が一定しない様子)	1	2	3	4	
15 年齢不相応な性的刺激が加えられた (例:大人の性器をさわらせる等)	1	2	3	4	
縦列合計得点→	A	B	C		合計 $A+B+C=体験$

2. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「ない」とお答えください。

	ない	たまに ある	ある	よく ある	年齢的に 不可能	
16 ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	5	
17 些細なことでびくびくして不安そうにする	1	2	3	4	5	
18 急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	5	
19 普通以上に怖がる特定の人や物や場面がある	1	2	3	4	5	
20 夜泣きが激しい	1	2	3	4	5	
21 感情の起伏が激しい	1	2	3	4	5	
22 ひとりで遊んでいることが多い	1	2	3	4	5	
縦列合計得点→	D	E	F	G		合計 $D+E+F+G=トラウマX$

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他の職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能	
23 表情が乏しい	1	2	3	4	5	
24 大人と関わろうとしない	1	2	3	4	5	
25 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	5	
26 人のものをとったりする	1	2	3	4	5	
27 生き生きとしている	4	3	2	1	5	←反転項目
28 友達と仲良く遊ぶ	4	3	2	1	5	←反転項目
29 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	5	
30 ちよつとしたことで怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	5	
31 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをボーッと見ている	1	2	3	4	5	
32 突然固まって、ぼーとした表情をする	1	2	3	4	5	
33 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、涙り付けてしまう	1	2	3	4	5	
34 いつもいらしている	1	2	3	4	5	
35 遊びに集中できない	1	2	3	4	5	
36 悲しそうにしている	1	2	3	4	5	
37 笑顔が少ない	1	2	3	4	5	
38 涙りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	5	
39 大人がいても自分で危険な行動をとる	1	2	3	4	5	
縦列合計得点→	H	I	J	K		合計 $H+J+K=愛着$

1. お子さんには次のようなことがありますか？

	ない	たまにある	ある	よくある	
40 ぐずることが多い	1	2	3	4	
41 床や壁に自分の頭を打ち付けることがある	1	2	3	4	
42 すぐに激しい泣き方になる	1	2	3	4	
縦列合計得点→	L	M	N		合計 $L+M+N=感覚・行動・調節$
下位尺度得点			総合得点		
トラウマ	愛着	感覚・行動・調節	トラウマ+愛着+感覚・行動・調節		

乳幼児版子どもの行動チェックリスト 2-6歳(就学前)用		《名前 _____ 年齢 _____》				
1. お子さんに以下のことがあったことを聞いていますか？		ない	あったと推定される	明らかにあった	不明	
1	殴られる	1	2	3	4	
2	蹴られる	1	2	3	4	
3	物を投げつけられる	1	2	3	4	
4	物で叩かれる	1	2	3	4	
5	タバコの火を押し付けられる	1	2	3	4	
6	その他の熱傷を負わせられる	1	2	3	4	
7	湯船に沈められる	1	2	3	4	
8	その他の暴力行為を受けた	1	2	3	4	
9	突然大声で怒鳴られるなど、感覚を通じての恐怖の体験があった	1	2	3	4	
10	こどもが事故で病院にかかった 「3」、「4」の場合:こどもが事故で病院にかかった回数 →(1. 1回 2. 2~3回 3. 4回以上 4. 不明)	1	2	3	4	
11	こどもにとって必要な日常的なケアを与えられなかった (例:オムツをはずさない、ミルクを与えない、衣服を替えない、身体を清潔にしない等)	1	2	3	4	
12	必要なのに病院に連れて行かない、あるいは健診につれて行かないということがあった	1	2	3	4	
13	こどもにとって必要な愛情を与えられなかった(例:話かけない、笑いかけない、抱かない、泣いても無視する等)	1	2	3	4	
14	養育者の不安定さなどで、ケアが一定しなかった (可愛がるときもあれば全く可愛がらないときもあるなど、子どもに対する態度が一定しない様子)	1	2	3	4	
15	年齢不相応な性的刺激が加えられた (例:大人の性器をさわらせる等)	1	2	3	4	
2. お子さんに以下のような状況が見られますか？年齢的にまだできないと思われる事柄については「ない」とお答えください。						
		ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
16	ある特定の状況で、急に激しく泣くなど、表情や態度が変化することがある	1	2	3	4	5
17	ある特定の状況で、こちらとかかわらなくなってボーとしていることがある	1	2	3	4	5
18	急に泣き出して止まらなくなる	1	2	3	4	5
19	親が「出来ていた」と言うことでも出来なくなっていることがある	1	2	3	4	5
20	寝つきが悪い	1	2	3	4	5
21	周囲に対して攻撃的である	1	2	3	4	5

以後の設問において、お子さんにとって特別な存在である大人(担当職員やその他の職員)のことを「特別な大人」と称します。もしそのような「特別な大人」がいない場合には、担当職員を対象としてお答えください。

お子さんの普段の行動から以下のような様子が見られますか？	ない	たまにある	ある	よくある	年齢的に不可能
22 表情が乏しい	1	2	3	4	5
23 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、「特別な大人」に近づいて慰めを求めようとせず、固まってしまう	1	2	3	4	5
24 「特別な大人」に対していい子ぶる、外面がいい	1	2	3	4	5
25 人のものをとったりする	1	2	3	4	5
26 危ないことを平気でする	1	2	3	4	5
27 表情が明るい	1	2	3	4	5
28 「特別な大人」の言うことを素直に聞く	1	2	3	4	5
29 友達と仲良く遊ぶ	1	2	3	4	5
30 気分や感情が急に変わる	1	2	3	4	5
31 慰められてもなかなか気持ちが落ち着かない	1	2	3	4	5
32 すぐに「特別な大人」に頼る	1	2	3	4	5
33 依存心が強い	1	2	3	4	5
34 大人に気に入られようと可愛い子ぶる	1	2	3	4	5
35 誰にでもべたべたしてくる	1	2	3	4	5
36 ちょっとしたことでも怖がって自由に遊ばない	1	2	3	4	5
37 「特別な大人」に抱かれていても、遠くをぼーっと見ている	1	2	3	4	5
38 突然固まって、ぼーっとした表情をする	1	2	3	4	5
39 嫌なことがあったとき、怖い時、痛みを感じたときに、固まってしまったり、凍り付いてしまう	1	2	3	4	5
40 「特別な大人」を困らせるような行動を多くとる	1	2	3	4	5
41 過度に警戒している	1	2	3	4	5
42 常に緊張している	1	2	3	4	5
43 いつもいらいらしている	1	2	3	4	5
44 遊びに集中できない	1	2	3	4	5
45 悲しそうにしている	1	2	3	4	5
46 笑顔が少ない	1	2	3	4	5
47 年齢不相応に動きが少ない	1	2	3	4	5
48 凍りついた目あるいはうつろな目をしている	1	2	3	4	5
49 目を合わせて笑いあうことが少ない	1	2	3	4	5